

# 令和6年度 明倫小学校 現職教育研究計画

## 1 研究主題

学びが深まる伝え合い活動の実践  
～自主的な学びを引き出す課題設定と提示の工夫を通して～

## 2 主題設定の理由

令和3年度からICT活用しつつ「伝え合い活動」による学びの深まりを目指した研究を行っている。ICT機器の活用については研究が進み、児童が自分の考えをもつ場面やまとめる場面での有効な活用方法が確立しつつある。しかし、「伝え合い活動」については、児童が目的を見失ってしまったり、自分の意見を一方的に主張するだけで学びが深まらなかったりすることが多々見られた。これらを踏まえ、今年度は伝え合い活動に焦点をあて、「伝え合う場面」を主として、言葉を使って心を通わせたり、理解しあったり、課題を解決したりする力を身に付けさせたい。また、話し手は、自分の思いを分かってもらえるように工夫して伝えようとし、聞き手は相手ときちんと向き合う態度や、話される内容や順序に気をつけながら聞こうとする力が身につく、学びが深まると考えた。

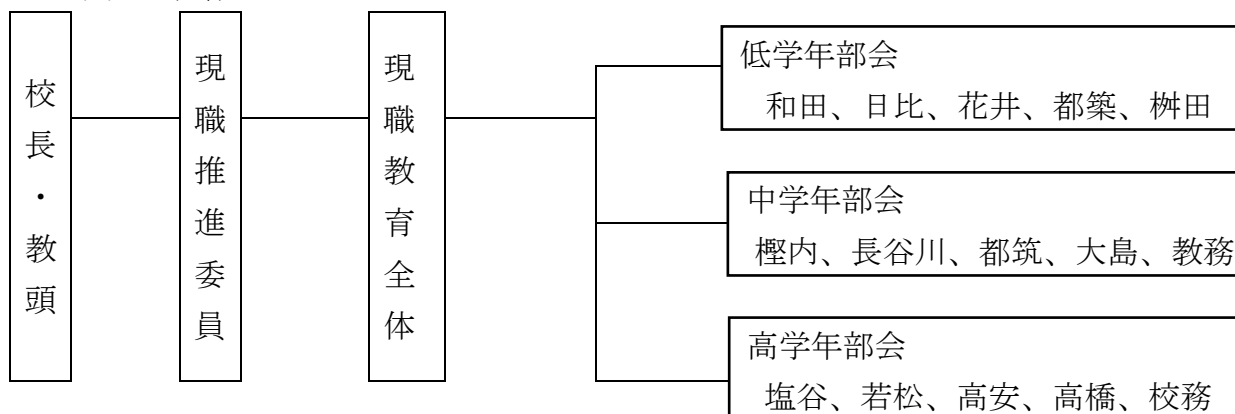
## 3 研究の計画

- (令和6年度) 導入期：さまざまな方法を試そう！・・・さまざまな手法を知る
- (令和7年度) 成長期：考えて使おう！・・・学習効果を探りながら使う
- (令和8年度) 成熟期：考えて伝え合おう！・・・より深い学びのために使う

## 4 研究の仮説

- ・伝え合い活動の方法を学び、授業に活動が適切に取り入れられることにより、学びを深めることができるだろう。
- ・課題設定とその提示方法を工夫することで、児童が自主的に学びに向かうだろう。

## 5 研究の組織



## 6 研究の方法

### (1) 「明倫小学校 伝え合いのルール」の活用

- ・学級にて、「明倫小学校 伝え合いのルール」の中から、軸にしたい目標を2～3個選択し、児童に伝わる言葉に変換して掲示する。
- ・10個のルールができる限り守られるように教員は意識して活動に取り組む。

### (2) 技能習得プランの作成

- ・よりよい伝え合いをするために、話す・聞く・ICTの活用技能の基礎力向上を目指す。

	話す	聞く
1・2年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話題に沿って話す。</li> <li>・経験に基づいて話す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手が知りたいことや、自分が聞きたいことを落とさずに聞く。</li> <li>・相手の発言を受けて話をつなぐ。</li> </ul>
3・4年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・比較したり分類したりしながら話す。</li> <li>・司会や提案などの役割を果たしながら、進行に沿って話す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記録したり質問したりしながら聞く。</li> <li>・共通点や相違点に着目しながら聞く。</li> </ul>
5・6年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分類したり関係付けたりしながら話す。</li> <li>・資料を活用しながら話す。</li> <li>・立場や目的、時間配分などを明確にし、計画的に話す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる。</li> </ul>

- ・帰りの会で「トークタイム」を実施
- ・文書作成技能習得プランに沿い、ICTの活用を心がける。
- ・木曜日の朝活で「タイピングタイム」を実施

### (3) 校内研修の充実

- ・学期ごとに低・中・高学年部会に分かれ、それぞれ持ち回りで授業計画を行い、全体で協議会を行う。
- ・伝え合う場面を含む公開授業を実施し、全員が参観する。
- ・伝え合う場面では、話し合う内容・方向性が明確になるように課題を提示し、可視化する。
- ・次学期に実践する学年は、前学期の反省を引き継ぎ、授業を計画する。
- ・授業と協議会の内容を「現職だより」で全体に共有する。
- ・「お互いの授業見合いっこしようぜ月間」の実施。

Aグループ	和田、花井、檜内、大島、若松、高橋
Bグループ	日比、都築、長谷川、都筑、塩谷、高安

→授業者は事前に公開する単元の内容を決定する。参観者は、A、Bの授業者の授業をそれぞれ2つ以上の授業へ訪問する。授業後、ワークシートに感想等を記入し、授業者に渡す。

(4) 外部講師による校内研修

(5) 学習環境の整備

(6) 学習規律の確立

- ・教室環境の整備、ノートのとり方、学習の決まりなどを、学年や部会（低・中・高）で統一し、学年ごとに積み上げられるようにする。

(7) 振り返りシート

- ・学習の規律は守れたか、ICT活用状況、学習の指導法などに関する項目についての振り返りを毎学期末に行う。

## 7 研究の年間計画

月	日	内 容	備 考
4	2	校内自主研修会	学級開き研修
	3	現職教育推進委員会	令和6年度全体計画の骨子検討
	1 2	現職教育全体会 校内公開授業年間計画作成	令和6年度全体計画の提案・検討
	2 6	現職教育全体会	救命救急法
5		校内自主研修会	指導案の書き方研修
		定例 ICT 情報交換会	ICT 活用法について情報交換
6		校内公開授業 振り返りと検証 校内研修 (対話的な学習について)	※授業後等に振り返りと検証
		定例 ICT 情報交換会	
		定例 ICT 情報交換会 現職全体会	外部講師招聘
8		外部研修参加	
9		定例 ICT 情報交換会	
1 1		定例 ICT 情報交換会 校内公開授業	※授業後等に振り返りと検証
		定例 ICT 情報交換会 校内公開授業	※授業後等に振り返りと検証
1		定例 ICT 情報交換会	
2		校内公開授業	※授業後等に振り返りと検証
	1 7	現職教育全体会	研究のまとめ・次年度にむけて